

コンサルティングNOW

【93】

今後の物流アウトソーシングのあり方

国際物流総合研究所 代表主席 岩崎 仁志

一般的には物流部が主導... 委託する物流業者との間で...

海外からメーカーが多く参入し、物流業者やSCMの高度なノウハウにも立ち向かっている...

「物流コストは安い方がよい」とか「商品は無料で届くのが当たり前」というような考え方が長い間、日本には根付いていた...

まず、物流の種類と範囲をあらかじめ決定すること。物流をアウトソースする方針が決まっても、何を、どこに、どうやってアウトソースするか決まっていなければならない...

「輸送」「保管」「荷役」「流通加工」「物流情報」「品質」「知識/経験」「ロケーション」「導入スケジュール」と「引継」という項目を考慮することが大事である...

まず、「コストが第一に挙げなければならない。」



中国企業B社の在庫管理

ンを使用したケアラベルの取り付け。化粧品業界の場合は、クリンルームと商品によって横断し、異なる温度管理が必要である...

「輸送」「保管」「荷役」「流通加工」「物流情報」「品質」「知識/経験」「ロケーション」「導入スケジュール」と「引継」という項目を考慮することが大事である...

物流企業の海外拠点[2018年版]

現地法人、東南アジアが最多 中国やメキシコ、インドも増加

メーカーや小売・流通業など日系企業による海外生産・販売の拡大に伴い、日系物流企業も世界に活躍の場を広げています...

- 1 五十音順で手軽に検索 物流企業131社掲載
2 地域ごとに開設動向 北米・中南米/欧州/中東/アフリカ/アジア/オセアニアなど
3 外資系企業の種類も 日本人スタッフ駐在拠点掲載



海外事業の拡大へ、必携の一冊
日刊CARGO 臨時増刊号 Dec.2017
物流総合紙
Daily CARGO Transport & Logistics News